

滋賀県版「避難所運営チェックリスト」(仮称)  
の作成推進による県全体の防災力向上

自治体名

滋賀県

人口(R5.10.1現在)

1,406,103人

取組のキーワード

■ 避難所運営

■ 男女共同参画

■ マニュアル

■ 市町村支援

地域計画の履歴

令和2年6月 策定  
令和3年1月 第1回変更  
令和3年6月 第2回変更  
令和4年2月 第3回変更  
令和5年3月 第4回変更

取組のカテゴリ

想定災害	地震災害	風水害	
取組主体	行政職員	有識者(学識経験者等)	国・都道府県・近隣自治体等(自組織以外)
施策分野	行政機能	リスクコミュニケーション	

活用した国の交付金等

—

取組の概要・ポイント

取組と脆弱性の関係

- ✓ 全国での近年の災害教訓から、災害時の避難所運営における女性や高齢者等の視点が見落とされがちな主体への一層の配慮が不可欠であると認識。
- ✓ 滋賀県では近年大規模災害が発生しておらず、県内市町における避難所運営のノウハウが十分に蓄積されていないことを課題と感じていた。

何を実施することにしたか

- ✓ 県において県内市町の参考となる滋賀県版「避難所運営チェックリスト」(仮称)を作成し、各市町の避難所運営マニュアルの見直しを促すことによって、その内容充実を図ることとした。

## 取組の推進状況

- ✓ 県内市町の避難所運営マニュアルの内容や国が作成している避難所運営に係る資料を踏まえ、それらを比較することで県内市町の参考となりうる要素を整理し、滋賀県版「避難所運営チェックリスト」（仮称）の検討に着手。
- ✓ 令和6年度以降は有識者や県内市町担当者の意見聴取等を行いながらチェックリストの完成を目指す。

### 1 取組を実施するきっかけとなった背景や課題

- 全国での近年の災害教訓から、災害時の避難所運営における女性や高齢者等の視点が見落とされがちな主体への一層の配慮が不可欠であると認識。
- 令和6年能登半島地震においても生理用品の備蓄やプライバシーの確保に係る問題が顕在化するなど、その重要性は高まっている。
- 滋賀県では防災における男女共同参画の観点で以前から「女性の参画による防災力向上検討懇話会」を組織し、対応施策の検討や同懇話会での検討成果を踏まえた住民向け啓発カードの作成を推進してきた。



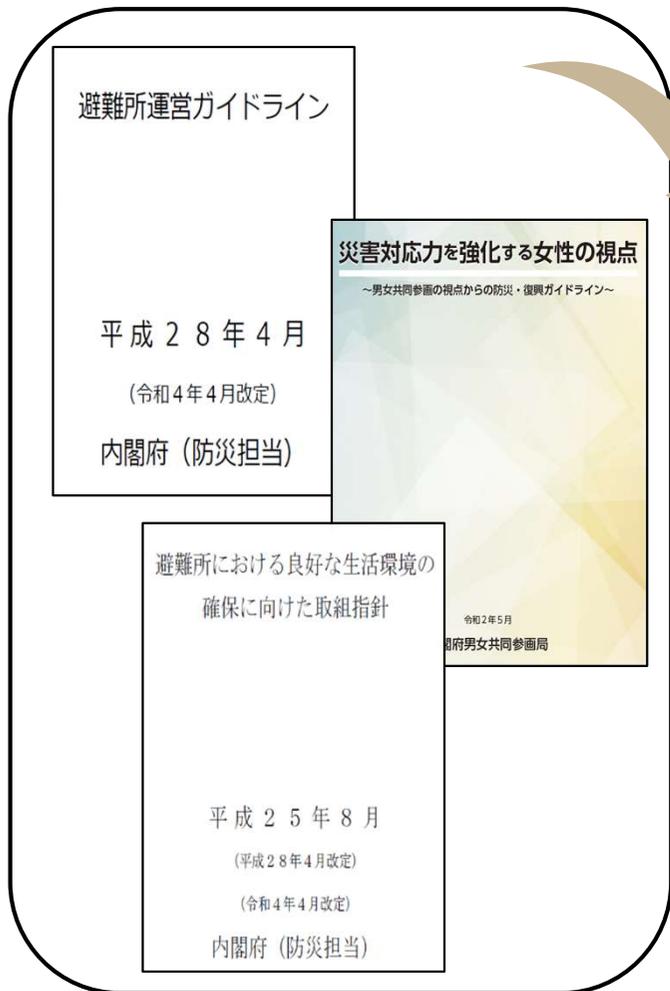
◀ 作成した啓発カードの例

- 一方、県内では近年大規模災害が発生しておらず、県内市町において避難所運営のノウハウが十分に蓄積されていないことが課題と感じていた。
- そこで、本来避難所運営は市町村が実務主体となるところ、滋賀県においては県内市町に任せきりにするのではなく、県でも女性や高齢者等の視点が見落とされがちな主体への配慮を考慮した避難所運営チェックリストを作成し、県全体の実務能力向上を図るとともに、県内市町の負担軽減にも貢献するよう構想した。

## 2 取組の内容

- 取組の手順として、
  - ・避難所運営において必要な女性や高齢者等の多様な観点での配慮については、既に国が複数の資料にてその望ましい在り方を示していることから、各資料から当該配慮に係る重要な要素を抽出。
  - ・さらに、県内市町の避難所運営マニュアルを収集し、上記要素が盛り込まれているか対照することで、県内市町の避難所運営マニュアルにおける多様な主体への配慮に関する記載の充足状況を確認した。
- これら充足状況を踏まえ、避難所運営マニュアルとして特に重要と考えられる要素を以下のようなプロセスで整理した。

### ■ 検討プロセスイメージ



#### Point①

国資料から女性や高齢者等といった多様な観点での配慮として望ましい要素を抽出（一部抜粋）

No.	観点	主な対象	主な参考文献	充足率 (右記「○」の市町数 県内市町数(18)※)	充足率		
					A市	B市	C市
13	避難所運営におけるリーダー、食事作りや片付けといった特定の活動が特定の性別に偏るなど、役割を固定化しないよう配慮すること	・ジェンダー	①	8/18 (44.4%)	×	○	×
14	高齢者、乳幼児、女性等に配慮し、紙おむつや生理用品を備蓄・配布すること	・高齢者 ・乳幼児 ・ジェンダー	①	14/18 (77.8%)	○	○	○
15	女性用品の配布場所を設けること。女性用品を配布する際は、女性が配布を担当すること。	・ジェンダー	①	11/18 (61.1%)	○	○	×
16	トイレ、物干し場、更衣室、授乳室、休養スペース及び入浴施設は男女別に設け昼夜を問わず安心して使用できる場所に設置すること。また、女性用トイレの数は、男性用よりも多くすること	・ジェンダー	①	9/18 (50.0%)	○	○	△
17	女性用トイレや女性用更衣室等は女性が巡回すること	・ジェンダー	①	1/18 (5.6%)	△	×	×

#### Point②

県内市町のマニュアルにおける各要素の充足状況を確認し、チェックリストに盛り込むべき要素を検討（別途その他県独自の観点についても検討を加える）

## <チェックリストに盛り込む要素の検討>

No.	採用の是非	考察
14	○	充足率は高いが、記載が不十分な市町においては「おむつ」には言及があるものの「生理用品」への言及が欠如しているケースが散見される。災害時の生理用品については今般の能登半島地震においても注目を浴びており、改めて明記することをチェックリストにおいても推奨する必要がある。

### 3 取組と地域計画の関係

#### 【地域計画における記載】

事前に備えるべき目標

劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態の悪化・死者の発生

いつ起こるかわからない大規模災害に備えて、県民の安心安全を守るために

県内市町全体の底上げを図るべく、ガイドライン作成をはじめとして、県において市町の災害対応力向上を実務面で支援することとし、その旨を地域計画の内容充実（計画推進のために定める「滋賀県防災プラン」への反映を含む。）に盛り込むことを検討している。

### 4 周囲の声（庁内職員・住民・企業）

- 防災分野で見落とされがちな視点を決して見落とすことなく、市町への支援を通じてだれもが安心して暮らせる地域にしていきたい。（庁内職員）
- 災害時に配慮が必要な人が安心して「避難所に行ってみようか」と思っていたきたい。（庁内職員）

## 5 今後の展開予定

- 令和5年度に整理した要素をもとに、令和6年度以降は庁内各担当部署のほか、男女共同参画等に係る有識者からの意見聴取や県内市町担当者らとの協議を経て、チェックリストを完成させるほか、市町の災害対応力の向上の取組を進めていく。